

事業名	歳入総額		歳出総額		差引残額	
	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度
後期高齢者医療	1億5,111万円	1億4,185万円	1億4,971万円	1億3,988万円	140万円	197万円
国民健康保険	24億2,833万円 (0)	25億8,328万円 (1億4,273万円)	23億1,917万円	24億5,943万円	1億916万円	1億2,385万円
介護保険	12億5,047万円	11億8,002万円	12億2,015万円	11億4,289万円	3,032万円	3,713万円
下水道事業	1億9,510万円 (2,468万円)	1億9,089万円 (2,172万円)	1億8,207万円	1億7,528万円	1,303万円	1,561万円

※1 国民健康保険の()内は、歳入総額のうち、一般会計からの赤字補てん繰入金

※2 下水道事業の()内は、歳入総額のうち、一般会計からの基準外繰入金

■特別会計決算額

決算

平成29年度

一般会計歳入決算額

64億 616万円

一般会計歳出決算額

56億8,557万円

一般会計は、主に役場新庁舎建設が中間年度であり、前年度に比べ支出が少なかったことなどから、歳出総額、歳入総額共に前年度より減額となりました。なお、引き続き積立金と借入金を活用したため、積立金残高は平成28年度末31億1,167万円から平成29年度末28億2,026万円となり2億9,141万円減少し、借入金残高は平成28年度末38億8,882万円から平成29年度末39億1,946万円となり3,064万円増加しました。また、歳入歳出差引残額は平成28年度6億949万円から平成29年度7億2,059万円となり1億1,110万円増加しました。

平成29年度健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を公表します。いずれの比率もイエローカードである早期(経営)健全化基準を下回っています。実質赤字比率…町の一般会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合を示す指標です。

連結実質赤字比率…町のすべての会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合を示すものです。

実質公債費比率…町の一般会計が負担する借入金の返済費やこれに準じるものの支払いが、町の財政規模に対してどれくらいの割合を示すものです。

将来負担比率…町の一般会計が将来負担すべき実質的な負債が、町の財政規模に対してどれくらいの割合を示すものです。

資金不足比率…町の下水道事業特別会計の資金の不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合を示すものです。

▼健全化判断比率

区分	板倉町	早期健全化基準
実質赤字比率	(-)	15.00%
連結実質赤字比率	(-)	20.00%
実質公債費比率	3.7% (4.9%)	25.00%
将来負担比率	(-)	350.0%

()内は平成28年度決算に基づく比率

○実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示。

○連結実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示。

○将来負担比率は、将来負担額に充てることのできる財源等が将来負担額を上回っているため「-」と表示。

▼資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業特別会計	(-)	20.0%

()内は平成28年度決算に基づく比率

○資金不足比率は、資金不足ではないため「-」と表示。

問合せ 財政係 内線132

しての借入れがなくなつたため、7,800万円の減となりました。地方消費税交付金 消費が上向いたため1,138万円の増となりました。なお、この交付金のうち社会保障財源化分1億1,521万円は、福祉医療費をはじめとした各種社会保障関係経費の財源に充てました。

一 般 会 計 歳 出
歳出総額は、56億8,557万円であり、対前年度5億6,816万円の減となりました。民生費 国民健康保険特別会計への赤字補てん繰り出しがなかったことにより、2億1,204万円の減となりました。総務費 防犯灯のLED化が完了したことや役場新庁舎建設が中間年度であり支出額が少なかったことなどにより、3億3,271万円の減となりました。

教育費 小中学校給食費無料化、板中校舎の屋上防水工事、板中コンピュータ教室のパソコン更新等により、1億2,700万円の増となりました。土木費 八間樋橋整備事業(町道1-9号線)や雷電神社参道改修が完了したことなどにより、6,003万円の減となりました。衛生費 館林衛生施設組合へのごみ処理施設建設費負担金が減額になったことやごみ処理が移行したことなどにより、1億5,295万円の減

となりました。公債費 借入金の返済費であり、1,028万円の増となりました。農林水産業費 産地パワーアップ事業の実施により、5,033万円の増となりました。消防費 下五箇地区洪水避難タワー建設のための設計委託等により、188万円の増となりました。その他 前記以外の支出であり、ほぼ同額でありました。問合せ 財政係 内線132

■一般会計歳出決算額

内 訳	H29年度	H28年度	増減率
民生費	16億8,239万円	18億9,443万円	△11.2%
総務費	13億9,851万円	17億3,122万円	△19.2%
教育費	6億2,347万円	4億9,647万円	25.6%
土木費	4億6,294万円	5億2,297万円	△11.5%
衛生費	4億4,581万円	5億9,876万円	△25.5%
公債費	3億2,817万円	3億1,789万円	3.2%
農林水産業費	3億1,260万円	2億6,227万円	19.2%
消防費	2億7,520万円	2億7,332万円	0.7%
その他	1億5,648万円	1億5,640万円	0.1%
歳出合計	56億8,557万円	62億5,373万円	△9.1%

※用語解説 民生費…幼児や高齢者などの福祉に使用します/総務費…町の一般的な管理事務にかかります/教育費…小中学校や公民館の経費、文化・スポーツ活動に使用します/土木費…道路や河川、公園などの整備・維持管理に使用します/衛生費…ごみ・し尿の処理や住民検診に使用します/公債費…借りたお金の返済に使用します/農林水産業費…農業や畜産の振興、土地改良などのために使用します/消防費…消防・防災のために使用します

■一般会計地方債(借入金) 現在高

H29年度末	H28年度末	増減率
39億1,946万円	38億8,882万円	0.8%

※紙面の都合により積立金・地方債現在高は、一般会計のみ掲載しています

■一般会計歳入決算額

内 訳	H29年度	H28年度	増減率
町 税	20億9,296万円	19億8,693万円	5.3%
地方交付税	12億8,330万円	13億6,724万円	△6.1%
繰越金	6億949万円	6億9,829万円	△12.7%
繰入金	5億8,486万円	8億7,450万円	△33.1%
県支出金	4億5,959万円	4億1,817万円	9.9%
国庫支出金	4億3,553万円	4億6,826万円	△7.0%
町 債	3億3,430万円	4億1,230万円	△18.9%
地方消費税交付金	2億6,801万円	2億5,663万円	4.4%
その他	3億3,812万円	3億8,090万円	△11.2%
歳入合計	64億616万円	68億6,322万円	△6.7%

※用語解説 町税…町民税や固定資産税などの税金です/地方交付税…財政状況に応じて交付されます/繰越金…前年度からの持ち越し金です/繰入金…基金や特別会計からの繰入金です/国庫支出金・県支出金…特定の事業を行うために国や県から交付される補助金などです/町債…借入金です/地方消費税交付金…消費税の一部が交付されます

■一般会計積立金現在高

区 分	H29年度末	H28年度末	増減率
財政調整基金	20億8,760万円	20億4,650万円	2.0%
減債基金	6,913万円	6,909万円	0.1%
その他特定目的基金	6億6,353万円	9億9,608万円	△33.4%
合 計	28億2,026万円	31億1,167万円	△9.4%

一 般 会 計 歳 入
歳入総額は、64億616万円であり、対前年度4億5,706万円の減となりました。町税 町の主要な収入であり、2年連続で増加し平成に入つて以降、最も高い水準となりました。地方交付税 町税に次ぐ主要な収入ですが、町税と相反する関係にあるため、平成に入つて以降、最も低い水準となりました。繰越金 前年度の歳入歳出差引残額が持ち越され、当年度の収入となります。繰入金 主に庁舎等建設基金からの繰入れが減額となった関係で2億8,964万円の増となりました。県支出金 産地パワーアップ事業に対する補助金の受入れなどにより、4,142万円の増となりました。国庫支出金 八間樋橋整備事業(1-9号線)の完了や臨時福祉給付金の事業費の減に伴う補助金の減等により、3,273万円の減となりました。町債 中央公民館大ホールの改修や防犯灯のLED化等の完了により、それらの財源と